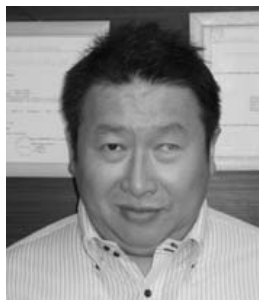


寸言

OPTIS Asia & Pacific株式会社
代表取締役
安藤 浩平



人間工学に基づいた「光」のシミュレーション

はじめまして。私は安藤浩平と申します。学生時代より仏国でCNES (Centre National Etude Spatial) とのエイリアンIV宇宙ロケットの構造解析に関する研究で博士号を取得して以来、仏国の数値解析技術の斬新性に心を奪われ早20余年が過ぎ去りました。現在は自身の専門である構造を離れ、仏国OPTIS GROUPの日本支社OPTIS Asia & Pacific株式会社にて「光」のシミュレーションの普及ならびに技術革新に日夜取り組んでおります。OPTIS GROUPは光学に関するシミュレーション、コンサルティング、計測を主たる業務とする創立20年の仏国企業でございます。

簡単に「光」と申しましても会員の皆様が容易にご想像つくように、その応用領域は誠に広いものであります。特に弊社では日常的に人間の目で捉えることができる可視光線のみならず、赤外線や紫外線などの非可視光線もシミュレーションの対象としているために、その応用領域ならびにお客様層が広大でなかなかまだ3期目に入ったばかりの新人企業には、多くの面で手に余ることが多く、SJACに入会させていただき、色々な面で情報交換や技術力向上を願っている次第でございます。

弊社のソフトウェアの特長のひとつにビジュアル・エルゴノミックス機能 (人間工学) というものがあります。これは可視光線もしくは非可視光線が人間の眼にどのように見える

かということを完全な物理法則に基づき計算するものです。これによると、特定の場所と時間、観測者の年齢や性別などを入力することによって、日中や夜間において対象物がどのように見えるかという結果が得られることとなります。すなわち、ビジュアルエルゴノミクスによる視認性の確認および規格に対する準拠を結果として得ることができます。

従いまして、航空宇宙や防衛産業の分野においては以下のような分野へのシミュレーションが可能になります。

1. コックピットデザインおよびレイアウト
2. ウインドシールドへの反射とグレアの考慮
3. 計器の可読性
4. ヘッドアップディスプレイ
5. ナイトビジョン
6. キャビン照明
7. 滑走路の照明
8. アンチコリジョンライティングシステム
9. 管制塔からのヒューマンビジョン

長年にわたり仏国の航空宇宙および防衛分野で構築されたこのような技術をさらに日本の航空防衛産業の土壌において発展させたく、SJACを通して今後とも会員の皆さまのご支援ご鞭撻を強く願う次第でございます。まだまだ、至らぬことが多い若い企業でございますが、今後とも何卒よろしく願いいたします。